

# 棣棠の心

岸田國士

青空文庫



ファルギーエル通りの貸本屋で、「マリイへの御告」を借りて来て、それをモンパルナスの墓地で読んだ——クロオデルを初めて知つたのはその時である。

ボオドレエルの死像の前に葦の花束などが置いてあつた。

なるほど、これは違つた世界だ——さう思つた。

やがて、喪服を着た若い女の、つゝましい瞬きに心を惹かれた。

——然し、その女は「天刑病者の接吻くちづけを受けた女」に似てゐた。

アール・エ・アクシヨンのスチユヂオで、ララ夫人の「正午の分配」を聴いた。

それは一つの啓示であつた。

——そこに、劇詩人としての「非凡な息スツフル」を感じた。

俳優の「人間臭さ」は、しばしば、その扮する人物を「人間らしさ」から遠ける。

クロオデルの戯曲中に現れる人物は、極めて「人間臭からざる人間」である。それが、最も「人間らしき人間」だと、どうして云へないだらう。

——その証拠に、彼等はわれわれの如く生きてゐる。少くとも、その時から、わたくしの心に生きてゐる。

「——Seigneur, que nous e'tions jeunes alors.....le monde n'e'tait pas assez grand pour nous——」

彼は予言者であるよりも詩人だ。

——それでいゝではないか。

わたくしは嘗て「芝居を書く」と云ふことのうちには、芝居を観る楽しみも大方含まれてゐる」と云つた。

クロオデルの戯曲を読んで、「クロオデルが観つゝある芝居」のユニツクな魅力を感じないものがあるか。

「我等の偉大なるクロオデル」とフランス人の或るものは云ふ。

「君等の偉大なるクロオデル」とわたくしは云ふことができる——お世辞でなく、皮肉でなく、まして見栄からでなく。

クロオデルが日本に来た。仏国大使として日本に来た。

——諸君、彼に先づ瞑想の時間を与へよう。



# 青空文庫情報

底本：「岸田國士全集19」岩波書店

1989（平成元）年12月8日発行

底本の親本：「言葉言葉言葉」改造社

1926（大正15）年6月20日発行

初出：「ゆかり」改造社

1924（大正13）年12月25日発行

入力：tatsuki

校正：Juki

2009年1月13日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

# 棣棠の心

岸田國士

2020年 7月18日 初版

## 奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail [info@aozora.gr.jp](mailto:info@aozora.gr.jp)

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>  
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。  
<http://tokimi.sylphid.jp/>